

第4回 川口中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和3年(2021年)11月14(日)9:30~12:30
場所	川口中学校 被服室
出席者	参加者:荒井、稲原、白鳥(信)、高野、田倉、田野倉、外山、内藤(佳)、内藤(妙)、内藤(ト)、 中尾、中村、平井、古田、安田、山口 社会福祉協議会:猿渡 高齢者あんしん相談センター川口:小林、太田 高齢者あんしん相談センター恩方:勝野、長内 川口中学校:鷺尾校長 八王子地域 PAL-ETTE:平島、小熊 未来デザイン室:今川、野田、安齋、牧瀬 RPI:笠原、伊藤、岩崎、藤原
見学者	八王子未来 CAN-VAS:石井 町会・自治会防犯灯担当課長:塩澤
配布資料	・第4回川口中学校区地域づくり推進会議資料 ・資料1 将来ビジョンの実現に向けた取組の投票結果 ・資料2 第3回川口中学校区地域づくり推進会議の検討結果 ・資料3 川口中学校区のアクションプラン一覧(案) ・資料4 川口中学校区の地域づくりに関するアンケート調査(合体版) ・資料5 川口中学校区地域カルテ(更新版) ・別紙 第4回川口地域カルテ修正依頼書

1. 開会

未来デザイン室から挨拶。

2. 議題

(1)地域の将来ビジョンを検討しよう

これまでの推進会議における将来ビジョンに関する意見の振り返りと、それらを踏まえた事務局案を提示し、いずれかを将来ビジョンのベースとしながら、必要に応じてキーワードを取り入れたものを将来ビジョンとして決定する旨を事務局より説明。検討の結果、事務局案を一部変更し、「住みたくなる、住み続けられるまち川口～自然と共生し、大人から子どもまでのつながりを大切に～」を将来ビジョンとすることで合意した。参加者からの主な意見は以下のとおり

参加者からの意見

・地域カルテの作成が市の最終目的か。地域計画策定後の具体的な活動は地域に任されているということか。

令和4年3月までに、地域を知るための地域カルテづくり、地域課題などの解決を目指す地域計画の策定を地域の皆様と一緒に。令和4年度からは計画に基づく取組を進めていきたい。市として、この地域づくり推進会議は今後も永続的に続けていくものと考えている。(未来デザイン室)

・事務局案がわかりやすくて良いと思うが「関わりを大切に」の箇所は「つながりを大切に」のほうが良い。

(2) アクションプランを検討しよう

第3回推進会議での検討結果を踏まえ(資料1~3)、3グループに分かれて優先的に取り組む分野と、今後5か年程度で取り組む分野について検討後、それぞれの分野を決定する旨を事務局より説明。また、優先的に取り組む分野にならなかった項目については、来年度に議論することを補足して説明した。各グループの検討結果を踏まえ、川口中学校区の推進会議で優先的に取り組んでいく分野は「プラットフォームづくり」「活動拠点の整備」で合意し、5か年程度で行う分野については、次回の会議時に事務局で整理したものを確認したうえ、決定することで合意した。各グループにおける主な検討内容は以下のとおり。

各グループの検討内容

グループ1

- ・優先的に取り組む分野は「プラットフォームづくり」。
- ・それぞれの団体の活動を互いに共有する必要がある。(例として、コミュニティカレンダーの作成など)
- ・そのほかの分野では、各団体に次の担い手となる若手が不足しているという課題が共通することから、「地域の担い手育成」も重要と考えた。さらに、もっと先の担い手として、子どもたちが夢を持ち、それをかなえられるような町にしたいという意見が出た。

グループ2

- ・優先的に取り組む分野は「プラットフォームづくり」。それぞれの地区の課題を地区の中で解決するのではなく、持ち寄り、連携することで解決していくためのプラットフォームが必要。
- ・そのための取組としては、「場づくり」が必要と考えた。例えば、町内会の中に推進会議の部会をつくり、全体の推進会議との連携をはかること、推進委員を任命しその人を中心に声掛けをして若い世代や町内会未加入者も巻き込みながら、将来の担い手を増やしていければ良いのではないかと。
- ・最終的に「地域コミュニティの活性化」につながっていく。

グループ3

- ・優先的に取り組む分野は「活動拠点の整備」。そのための取組として「マルシェ」を検討した。
- ・実施にあたっては、住民協議会をベースに地域住民も参加する実行委員会を設置し、いろいろな団体が関わる場としても活用していく。
- ・地域の様々な活動団体の発表の場にもなるのではないかと。
- ・地域情報の発信力向上や賑わい創出、交通利便性の向上なども期待できるのではないかと。
- ・「プラットフォームづくり」については、プラットフォームを住民と行政をつなぐ組織とし、マルシェなどの活動を維持、拡大していくことでプラットフォームが強化されると考えた。このためには継続が重要であり、関わる方々には無償ボランティアではなく有償での仕事(収益化)とする必要がある。
- ・行政には一定の予算措置とともに、活動に使える事務所など、場の提供の支援を求めたい。また、今後、整備される公園施設等を拠点に活動してもよいのではないかとという意見もあった。

(3) 地域カルテの内容を確認しよう

アンケート内容・配布方法について

資料4について、第3回推進会議で確認した項目(居住歴の質問、子どもへの質問等)を反映したこと、回答は紙及びインターネットで行うことを説明し、現在の質問内容で実施したい旨の提案を事務局より行った。検討の結果、提案内容で実施することで合意した。また、アンケートの配布方法は、学校のネットワーク

(PTA)を主体としつつ、そのほかの参加者も所属団体や近所の人に配布することとし、学校のネットワーク(PTA)での配布方法は、個別に調整することで合意した。参加者からの主な意見は以下のとおり。

参加者からの意見

- ・子ども向けの質問については、同居している親が回答するのか。
配布方法からすれば、主に保護者が回答する形となるが、保護者が子どもの代筆や子ども本人が回答しても良い形としている。(未来デザイン室)
- ・自由回答は答えるのが難しいので、選択式にできないか。自由記述は集計も大変。
設問を選択式にすると、選択肢を網羅的に作成する必要があるため、作りこみに時間がかかる。皆様から選択肢の案をいただき、可能な限り選択式としたいが、必要に応じて自由記述の設問も検討していく。(未来デザイン室)
- ・子ども向けのアンケートは分けたほうがよい。
アンケートの中で子どもに分かりやすい記載方法をPTAの参加者に相談して調整したい。(未来デザイン室)
- ・アンケートを作成するにあたり、設計段階から参加者とともに行っても良かったのではないか。
地域づくりのアンケートは、今後も必要に応じて実施していきたいと考えている。今年度は現状の内容で実施したいが、来年度以降も地域の皆様とともにアンケートを作りこみたい。(未来デザイン室)
- ・提出期限が12月となっているため、この内容で進めないと間に合わないのではないか。
カルテ充実のための最初のアンケートとしてはこの内容で進めさせていただきたい。その結果を受けて、次回以降のアンケート作成に活かしていく。(未来デザイン室)
- ・印刷は市が行うのか。
印刷は市が行う。学校への配布方法は、学校ごとに調整する。(未来デザイン室)
- ・紙でなければ回答できないのか。小学生が持っているタブレットに配信できないか。
回答は紙とインターネットの両方で行う。学校のタブレットは家に持って帰れない場合もあるので、自宅のPCや保護者のスマホ等で回答していただく形となる。QRコードを掲載した依頼文を市で用意する。(未来デザイン室)

地域固有ページについて

事務局から地域カルテ(資料5)の不足している箇所を説明。また、地域固有ページについて、掲載テーマ(地域活動・自然・名所)の妥当性と、レイアウト上の各テーマの分量、各テーマの作成者を決定したいことを伝えた。検討の結果、第5回推進会議で掲載テーマにこだわらず各参加者が広域的に発信したい情報を写真とともに持ち寄ること、グループ分けのため可能な限り事務局に事前送付することで合意した。参加者からの主な意見は以下のとおり。

参加者からのご質問・ご意見

- ・小学校に松枝小学校が含まれていないが、川口中学校区の範囲はどこまでか。松枝小学校は川口中学校区からは外れているが、川口中学校には松枝小学校の子が半数近く進学する。
川口中学校区の皆様に発信するにあたって、入れたほうがいいという情報は、川口中学校区のエリアにとらわれず、地域の実情に応じて含めたいと考えている。(未来デザイン室)
- ・サークル活動の情報などは古い情報なので、書き直すということか。また、高齢者サロンを意図していない取組が、高齢者サロンとして紹介されている。
内容は現在市で知り得る範囲で入れているので、修正箇所については修正依頼書を使って提出し

てほしい。掲載団体については、市から掲載承諾をとるので、その際に区分などの誤りは訂正可能と考えている。(未来デザイン室)

・掲載内容について連絡を取りたいときはどこにコンタクトすればいいのか。小学校でやっている活動は、学校に連絡すればよいのか。

問い合わせ先は個人の連絡先もあるので、市で確認する。(未来デザイン室)

・地域カルテには地域住民から見て不足している情報や、逆に不要と思われる情報が掲載されている。そのような地域からの意見を集め、議論していきたいと考えている。引き続き確認をお願いしたい。(未来デザイン室)

・カルテに「川口の四季」が紹介されているので、地域固有ページの「自然」は不要ではないか。

・地域固有ページの「地域活動」は、ほかのページに掲載されている活動以外を載せるということか。

・歴史と名所は重なっているのではないか。

すでに掲載されている情報を、写真などを用いてより具体的に掲載するというのもよい(RPI)

前までのページ内容からピックアップし、川口にお住いの皆様でしかわからない深い情報を伝えていくのもよいのではないか。(未来デザイン室)

・3つのテーマを取り払い、各自が載せたいことを持ち寄るのがいいのではないか。

良い案なので次回そのようにさせていただきたい。(未来デザイン室)

・配布先は地域住民となるのか。次の改訂時期は決まっているのか。

カルテをある程度作成した段階で、配布先や更新時期なども本会議で検討していく。(未来デザイン室)

・カルテのターゲットは誰になるのか。地域に詳しい地域住民を対象とすると、おすすめ情報の内容も変わってくる。

カルテの目的は、地域団体の連携や担い手の創出のための地域の見える化である。第一のターゲットは、推進会議参加者やこれから関わっていく人たちとなると考えている。

また、地域固有ページは、引っ越してきた人、子どもたちなど、参加者の皆様がだれに何を知ってほしいかという情報が集約されたものになる。地域の皆様が自慢したいものとして市では拾えない情報が掲載されることが良いのではないか。(未来デザイン室)

・冊子にせず、ホームページでデータを掲載してはどうか。更新が容易であり、誰でも閲覧ができる。また、ページ数の制限がないなど利点が多い。

地域で更新する情報、市で更新する情報、更新が必要な情報、不要な情報などがある。それらを確認して冊子は何年かに1度、ホームページは毎年更新なども考えられる。(未来デザイン室)

まずは紙のカルテとしてどんな内容を掲載するかを考え、内容に応じてホームページに掲載することも検討したい。PDF化した地域カルテを市ホームページで公開する予定。(未来デザイン室)

(4) 地域づくり推進会議の運営方法を検討しよう

地域づくり推進会議の常時参加者が前回決定したことを改めて確認。推薦等による随時参加者は地域づくりワークショップにご参加いただき、場合によって令和4年度(2022年度)から常時参加者として参加していただくことをあわせて確認した。

3. その他

地域づくりワークショップ参加者の推薦について、地域づくりの仲間づくりの一環として、可能な限り推薦をいただきたいことを事務局より説明。後日、個別に御連絡をさせていただく。

法政大学の学生から推進会議参加者の皆様の話を伺いたいという依頼が来ており、該当する方に個別に声がけさせていただきたいと事務局より説明。

次回の推進会議の開催日程等を確認。

第5回推進会議

開催日時:12月5日(日)9時30分～

開催場所:川口中学校 被服室

以上

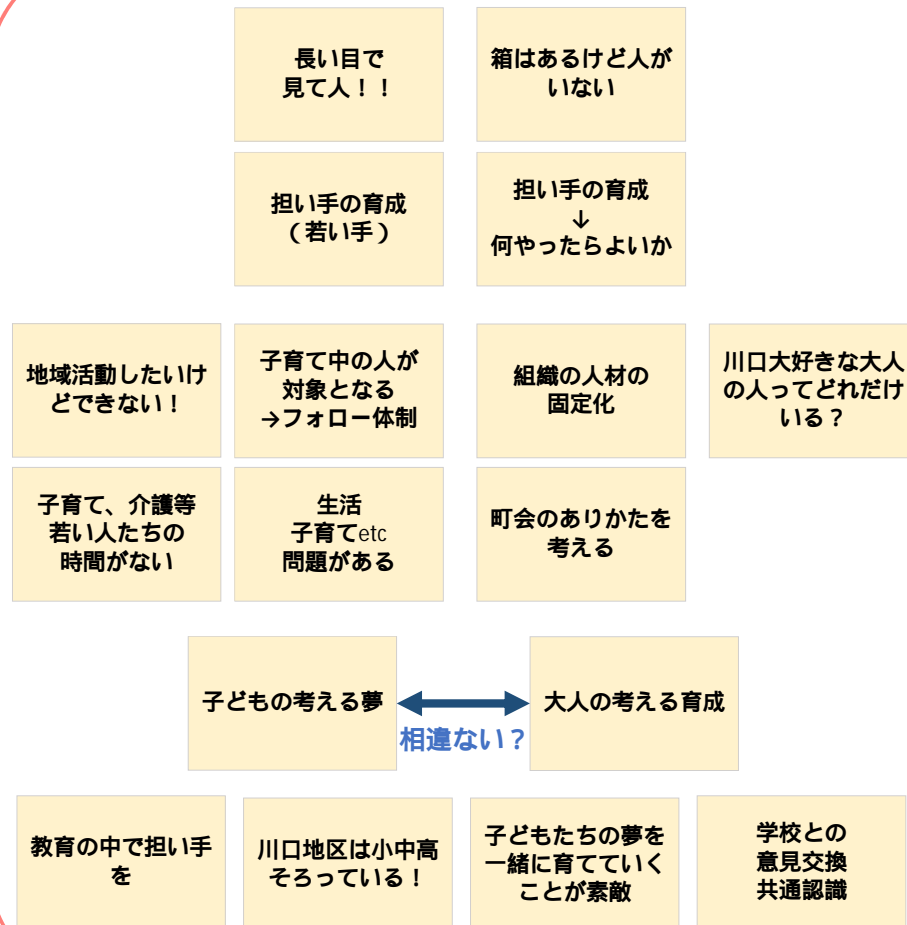
第4回 川口中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容

グループワーク アクションプラン

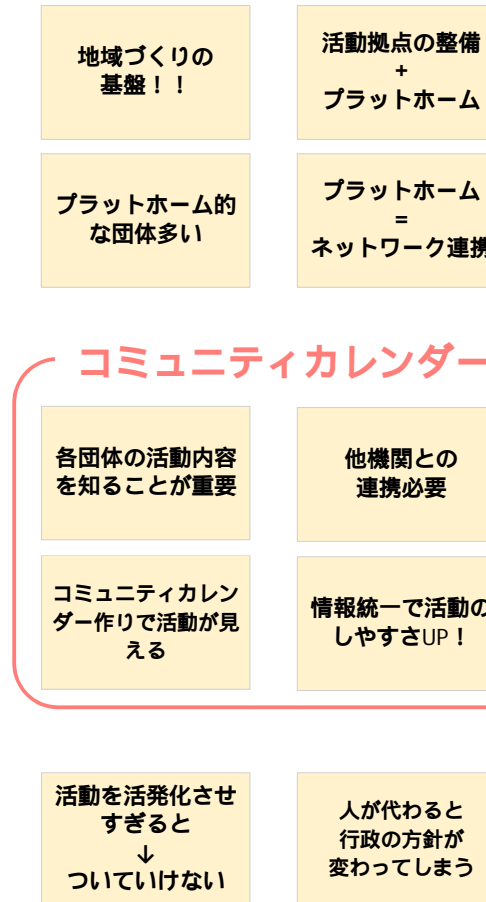
グループ①

= 優先するアクションプラン

地域の担い手の育成



プラットフォームづくり 活動拠点の整備

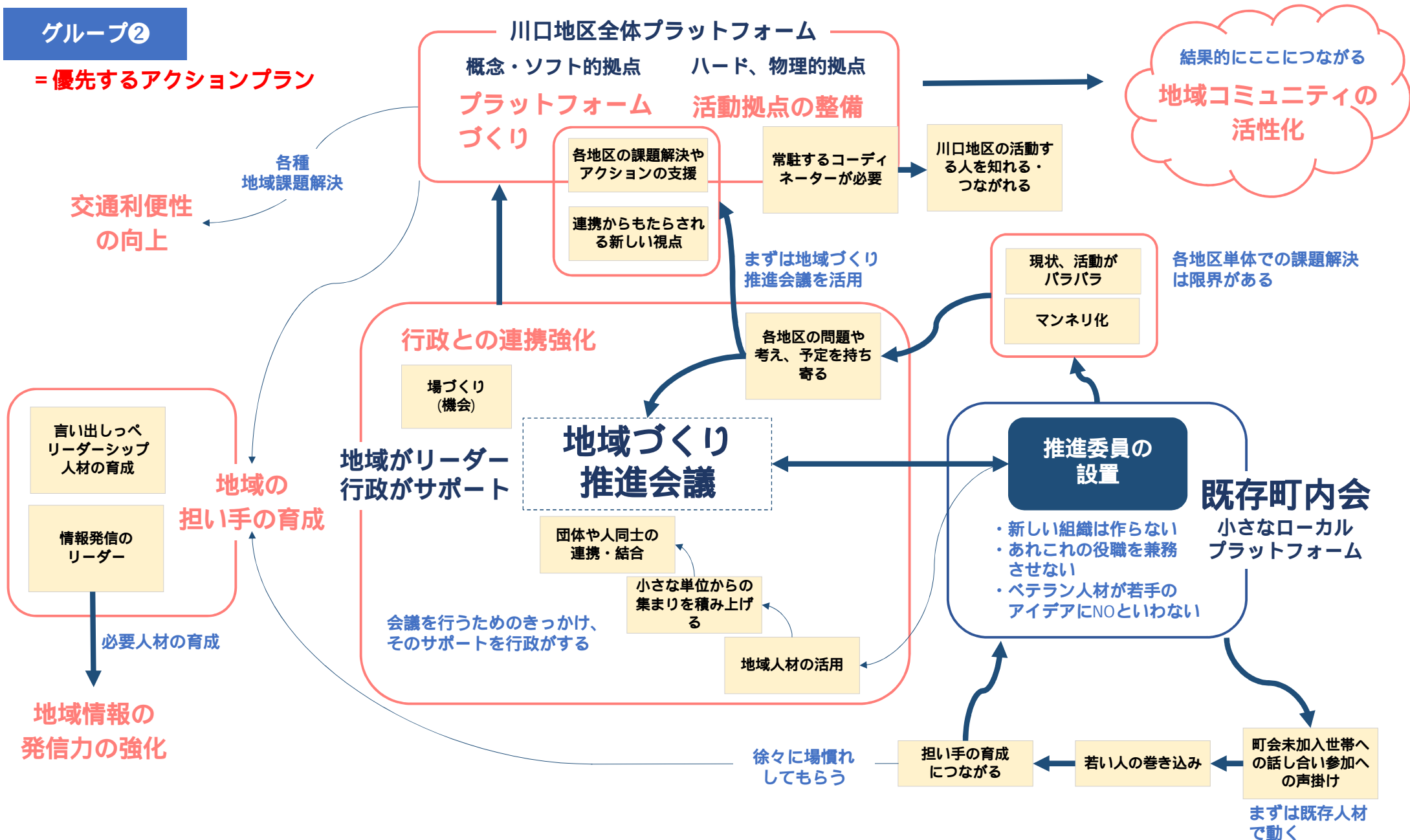


第4回 川口中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容

グループワーク アクションプラン

グループ②

= 優先するアクションプラン



川口地区全体プラットフォーム

概念・ソフト的拠点 ハード、物理的拠点

プラットフォーム 活動拠点の整備
づくり

各地区の課題解決や
アクションの支援

連携からもたらされる
新しい視点

常駐するコーディネーターが必要

川口地区の活動する人を知れる・つながれる

結果的にここにつながる

地域コミュニティの
活性化

各種
地域課題解決

交通利便性の
向上

まずは地域づくり
推進会議を活用

現状、活動が
バラバラ

各地区単体での課題解決
は限界がある

マンネリ化

行政との連携強化

各地区の問題や
考え、予定を持ち
寄る

場づくり
(機会)

地域がリーダー
行政がサポート

地域づくり
推進会議

推進委員の
設置

既存町内会

小さなローカル
プラットフォーム

- ・新しい組織は作らない
- ・あれこれの役職を兼務させない
- ・ベテラン人材が若手のアイデアにNOとしない

団体や人同士の
連携・結合

小さな単位からの
集まりを積み上げる

地域人材の活用

会議を行うためのきっかけ、
そのサポートを行政がする

言い出しっぺ
リーダーシップ
人材の育成

地域の
担い手の育成

情報発信の
リーダー

必要人材の育成

地域情報の
発信力の強化

徐々に場慣れ
してもらう

担い手の育成
につながる

若い人の巻き込み

町会未加入世帯への話し合い参加への声掛け

まずは既存人材
で動く

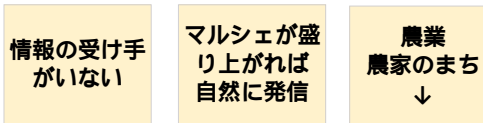
第4回 川口中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容

グループワーク アクションプラン

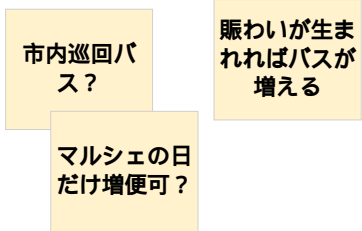
グループ

= 優先するアクションプラン

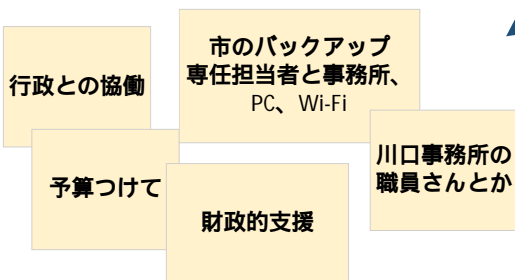
地域情報の発信力の強化



交通利便性の向上

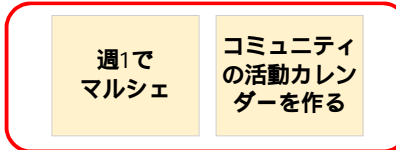


行政との連携強化



＼マルシェ／

まずは既存の拠点で！

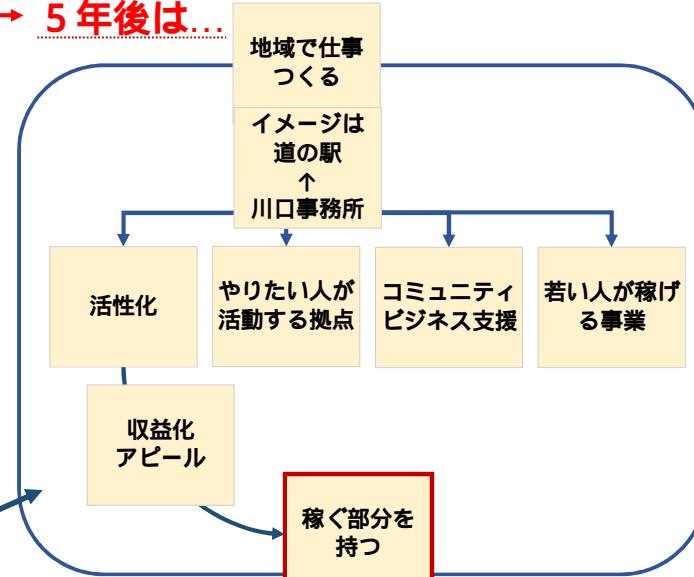


活動拠点の整備

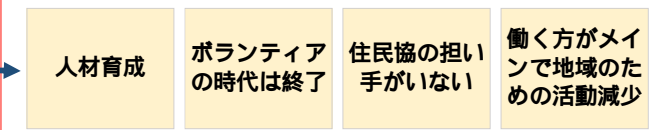
時間がかかること



5年後は...



地域の担い手の育成



プラットフォームづくり

